

加古川グリーンシティ防災会20年の歩み

今回は炊き出し訓練にイカ焼き機導入までを！今回も防災活動と管理組合事業を合わせてお伝えします。

2007年 1月「防災インターネットラジオ局・E-KGB」を開局し防災減災の啓発を全国へ発信。5月「第61回神戸新聞社会賞」授賞。6月「日本水大賞厚生労働大臣賞」授賞と各方面で評価されグリーンシティ防災活動が更なる注目を受ける。10月「エレベータ緊急時応急手当（エレベータ閉じ込め時救出）訓練」を開催、地震時の安全安心を向上させる。

2008年 1月企業との防災コラボレーションから「**コココーラ自販機設置3台でAED3台**」の提供を受ける。地域の方々の協力（販売売上げ）で現在グリーンシティ敷地内には6台のAEDが配備され「命を守る取り組み」が構築。1月14日防災テレビ番組収録中に、「**防災とは自分の大切な人を守ること**」という言葉が生まれた。今では全国で当たり前のように使われていますが！ここから自分たちの目指す『防災』が何であるかが定義される。4月からは「加古川地域FM放送BANBANラジオ」の協力で防災番組「**楽しく防災活動をやろう**」の放送を担当。10月「エレベータ耐震化及びリニューアル工事」が行われ「**エレベータ緊急時訓練**」と合わせて防災力が高まる。

2009年 3月「**グリーンシティ避難所案内標示板**」設置。4月からは全国的にも例を見ない防災の長寿番組となった、防災ラジオ「**防災ショットバーDIR**」がBANBANラジオの協力で放送開始今年で10周年を迎えた。5月「命のライセンス拡大版**防災ハンドブック非常持ち出し本DIB**」を発行し備えの強化を図る。6月「**加古川市制60周年 特別功労者表彰**」授賞。8月「**防災ベンチの設置**」の対応力をアップ。12月「**高層階避難器具キャリダン**」による避難訓練を開催する。



2010年 4月「内閣府発行海外向英文政府広報誌・Highlighting Japan through articles」にグリーンシティ防災活動が掲載され海外発信される。6月「京都大学防災研究所阿武山観測所」視察より専門家とのコラボがスタート。

2011年 1月「**第15回防災まちづくり大賞防災情報部門・消防庁長官賞**」授賞と「**第1回防災ラジオドラマコンテスト審査委員特別賞**」授賞。防災ゲーム「**災害ハンター・FIRST**」を開発し楽しく防災活動を推進し「**防災情報網の構築**」「**普段の生活に防災を組み込む生活防災**」「**楽しく防災活動**」を全国的に啓発。3月11日「**東日本大震災が発生！**」により、防災

は防災活動の舵を大きく切ることになる。

まずは、防災活動をすべて点検しこれからも今までの活動で良いのか？「日常の中で防災活動構築する生活防災」や「楽しく防災活動をやろう」といった甘い活動で良いのか？防災活動継続の上で苦悩する。

東日本大震災の教訓から防災活動を総点検したことで「**人を助ける防災**」から「**助かりたいと思う人が助け合うシステムの防災**」へと舵を切る。これは阪神・淡路大震災から東日本大震災までの数々の災害を研究した結果「**助かりたい！と思っていなければ助かる確率は著しく低いこと**」「**自分や自分の大切な人の命を他人まかせにしてはいけないこと**」「**自分は備蓄せずに、他人の備蓄品を災害発生前から当てにしてはいけないこと**」「**守るものをしっかりと定義すること**」等、今まで言葉に出すことがタブーだったものに目を向け、**本音で語る防災活動へ変革**を図る。更には継続推進してきた「**生活防災**」には継続力があることも確認し「**生活防災のパワーアップを図ろう**」と考える。そこから生み出された言葉が「**防災の概念をぶっ飛ばせ！**」。人から教えられる防災ではなく「**自分で学び生み出す防災にすること**」「**自分が本当に必要とする防災活動を探し出し自分のこととして生活の中に組み込むこと**」。人から言われなくても**防災の所作振舞い**ができるといった生活文化にしてしまうことです。

2012年 「**町内チャンピオンマップ**」の名を改め「**ちからこ部**」としたことで、防災協力者の数が飛的にアップ。一番多い登録は『**自分にできることなら何でもお手伝いします**』。東日本大震災で多くの人が「何かをしなければ！」と気付いたのでしょう。

みんなで意見を出し合って、より良いものにして地域を動かし守ることが重要です。『**自分が得するなら・自分さえ良ければ・自分だけが**』といった自己中心的な考えでは、近年発生する大災害を乗り越えることが不可能だと知らされたのです。『**アリとキリギリス**』から学ぶ防災



声高に『**だからコミュニティが必要なんだ！**』。でも、そんな活動もイヤだと思ってしまうのも事実です。それはそれで良いのだと思います。災害が発生して自分が困ったとしても「**他人を絶対にあてにしない**」と腹をくくり、それなりの自己対策をしていけばよいのでしょうか。しかし、2012年以降、加古川グリーンシティ防災会が啓発した『**楽しく防災活動をやろう**』『**防災力はコミュニティから**』『**防災とは自分の大切な人を守ること**』等が全国メディアや書籍に取り上げられ、大都会のマンションでもコミュニティの重要性が語られ構築されるようになっていきます。

今後も『**地域防災のパイオニア**』として防災活動を頑張ります。皆様！ご協力よろしくお願ひします。